

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日: 令和6年2月1日

事業所名: ゆいまーるあくあ

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
詳細を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

Table with 7 main columns: 区分, チェック項目, 事業所の現状評価 (5 sub-columns), 保護者の方の評価 (5 sub-columns), 評価を踏まえた改善内容・改善目標. Rows are categorized into 環境・体制整備, 業務改善, 適切な支援の提供, 適切な支援の提供(続き), and 関係機関との連携.

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価			評価を踏まえた改善内容・改善目標			
		良い	やや良い	悪い	良い	やや良い	悪い				
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	7	2	0	契約時に説明をし、承諾を得ている。	29	1	1	1	ご質問ご不明点があった場合は、迅速に対応していきます。	
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	7	2	0	計画書をお渡しする時、または電話にて説明している。	29	2	0	1	今後も直接お会いできない保護者様については電話にて支援内容の説明を行っていきます。	
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するベレントトレーニング等の支援の実施	1	8	0	保護者様から相談があった時は必要な支援を行っている。	15	4	4	8	現状では限られた職員しか対応できないため、今後は全職員が対応できるよう努めていきます。	
保護者への説明責任・連携支援(続き)	4 子どもの発達状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	8	1	0	連絡帳や送迎時など保護者様と情報共有できるように心がけている。	27	3	1	1	今後も、連絡帳や送迎時など保護者様と情報共有できるように努めていきます。	
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	9	0	0	相談があった時は適切な対応が出来るように心がけている。必要に応じて職員間で話し合いを行う。	23	7	0	2	今後も、相談があった場合は電話で迅速に対応していきます。希望された場合は面談対応も行っていきます。	
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	0	7	2	現在行っていない。今後の課題である。	4	3	11	14	保護者会等は求めていません。現在行っていないが検討していきます。	
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	9	0	0	上司に報告し、迅速に対応するように心がけている。	22	1	0	9	苦情も問題もないし、何かあればすぐ報告してくれる。	
	8 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	9	0	0	文字、絵カード、ジェスチャー等個々に応じてわかるように伝え方を考慮している。	28	0	0	4	伝達時でも気をつけてくれる。	
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	5	4	0	予定表やイベントのタイムスケジュールを毎月配布している。SNSで活動の様子を発信している。	29	0	0	2	インスタを見ても新しいのがあるのかよくわかりません。	
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	8	1	0	個人情報の外への持ち出しは禁止している。SNSの発信においては肖像権に関して保護者様に確認している。	28	0	0	4	個人情報の取り扱いについて、社内研修でも取り入れています。	
	非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	8	1	0	マニュアルを作成している。社内での勉強会で共有している。	25	1	0	6	保護者様への周知が不十分な部分があるため見直していきます。
		2 非常災害の発生に備えた、定期的避難、救出その他必要な訓練の実施	9	0	0	定期的にイベントに取り入れ、実施計画を確認している。	26	0	0	6	定期的に地震、火災の避難訓練を利用者と一緒に、避難場所や避難方法の確認を行っていきます。
	非常時等の対応(続き)	3 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	9	0	0	社内研修に取り入れている。気になることがあった時は職員全員で共有し、利用者様への対応を行っている。					自分の行動や支援を振り返る機会を作り虐待が起こらない施設を目指します。
4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載		7	2	0	必要な利用者様に対しては支援内容に組み込むが、現在は対象者なし。					対象利用者様については、保護者様と共通理解を図り身体拘束を行った際は記録に残していきます。	
5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応		5	3	1	保護者様より書類提出、または情報をいただき配慮し提供している。					必要に応じて医師の指示書に基づき、適切に対応していきます。	
6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底		9	0	0	ミーティングでの情報共有ほか、ヒヤリハットを作成しファイルで保管している。					引き続き情報共有を行っていきます。	